

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 2 FUJI GT 500 km RACE

2014年5月3日(土)~5月4日(日)

決勝 レポート

110 Laps



場所:富士スピードウェイ(静岡県) 1周 4.563 km

天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:20℃ / 路温:33℃ / 観客動員数:57,200人

2度の再スタート、12位で決勝を終える

2014年 SUPER GT 第2戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。昨日に引き続きゴールデンウィークにふさわしい青空の下、レースは始まった。

5月4日(日)

<決勝 110LAPS / 14:00~>

天気は全く問題無いが、#61 SUBARU BRZ R&D SPORT にとって、富士スピードウェイ特有の長いストレートで、いかに後続車にパスされずに周回出来るかが勝敗のカギである。予選は単独で周回出来るため、コーナースピードでタイムを稼ぐ事が出来るが、決勝ではそうはいかない。1周のフォーメーションラップの後、500kmレースのスタートは切られた。スタートを受け持った佐々木孝太は、懸命にポジションを守ろうとするが、ストレートで徐々に順位を落とす。しかし佐々木は冷静に反撃のチャンスをつかむ。スタート早々の3周目、ストレートでクラッシュが発生し、赤旗



www.rdsport.net

再スタートとなる。徐々に前後の車両との間隔が開き始め、本来のBRZの走りでプッシュしようとしていた矢先の出来事である。再スタート後の厳しいレース展開が一段落した17周目、火災車両の発生による、まさかの2度目の赤旗。再スタート後、佐々木は11番手に踏み留まり、30周目に早めのピットインで井口卓人に代わる。井口はコンスタントな走りを見せたが、40周目にシフトトラブルで17位まで順位を落とす。ドライバーのテクニックで何とかシフトトラブルをカバーし、66周目に佐々木に代わる。18位でコースに復帰した佐々木も、シフトトラブルに悩まされながらも脅威の追い上げを見せ12位でゴールした。なお、GT500クラスの優勝は#12 カルソニック IMPUL GT-R、GT300クラスは#4 グッドスマイル初音ミク Z4 が制した。



■本島監督 コメント



今回ドライバーもスタッフも頑張ってくれました。運も無かったとは言え、このような形でレースに敗れる事が非常に残念です。期待して応援に来て下さったSUBARUファンの方々に本当に申し訳なく思っております。富士にも強いBRZを早く皆様にお見せできる様に頑張ります。

■佐々木 孝太 コメント



すべてのタイミングが僕達に味方してくれなかったですね。予選はBRZのポテンシャルを100%引き出せたアタックでした。決勝はセーフティーカーのたびにストレートの速い車に抜かれてしまいましたが、タイヤのライフに関してはかなり進化しているので、今後のレースには期待してください。

■井口 卓人 コメント



予選では、車とタイヤのマッチングも最高で、BRZが不利だとされるストレートが長い富士スピードウェイで高いパフォーマンスを出す事が出来ました。レースでも、確実に速さはありましたが、セーフティーカーが2回も入る荒れたレースになり、僕達にとっては歯車が噛み合わないレースとなってしまいました。最後まで、ポイント獲得に向けてプッシュしましたが残念ながらポイントすら獲得する事が出来ませんでした。沢山応援して頂きましたが、結果を出す事が出来ずに悔しいです。次のオートポリスは、BRZが得意としているサーキットですし、リベンジしたいと思います。

予選・決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/> もご覧ください

2014年5月4日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net